

研修目標と研修内容について

職種名「臨床検査技師レジデント(超音波検査コース)」

1 概要

超音波検査業務全般に関する基礎的・専門的技術の習得を目指し、がん医療に精通した臨床検査技師を養成する。また、臨床検査業務全般に必要な基本的知識として、生理学的検査や臨床検査データの解釈、病理組織診断や細胞形態学の診断に関する幅広いがん専門知識の習得を図る。

2 研修での到達目標

1) 一般目標

がん専門病院に求められる超音波検査業務全般、生理学的検査に関する基本的・専門的技術と知識の習得

2) 行動目標

- ・超音波検査、生理学的検査に関するがん専門知識・技能の習得
- ・検体検査における臨床検査データの解釈に関するがん専門知識の習得
- ・病理組織診断学、細胞診断学に関するがん専門知識の習得

3 実習内容

下記に関して実習する。また、各部署での講義やカンファレンスにも参加し、がん専門病院における臨床検査技師に必要とされる基礎知識や臨床技術を習得する。

- a) がん疾患全般的な基礎知識の習得
- b) がん疾患を中心とした超音波検査と報告書作成技術の習得
- c) 超音波穿刺吸引検査技術の習得
- d) 総合画像診断学（CT、MRI、PETなど）としての比較検討
- e) 心電図、肺機能などの生理検査業務の習得
- f) 個々のがん疾患における異常データの取り扱い、腫瘍マーカーの理解と解釈